

日本歴史研究コース 履修モデル

学位取得



学位授与方針

日本歴史研究コースの定める期間在学し、本コースのアドミッションポリシー・カリキュラムポリシーに沿った研究指導を受け、必要とされる単位を取得し、かつ所定年限内に本コースが行う博士論文の審査及び試験に合格し、課程を修了することが学位の要件です。また、課程の修了は、広義の日本歴史研究者として自立して活動するために必要な総合的能力と、その基盤となる専門的かつ学際的知識を身につけているかどうかという点を基準として判断されます。

学位論文提出



	個別授業							基礎演習	論文指導	集中講義				
3年次	歴史資料研究（歴史研究の素材としての資料の研究）	資料論・展示（資料自体の特性の研究とそれを用いた歴史表象の研究）	分析・情報科（物質としての資料の分析と資料情報のデータ化の研究）	社会論（各時代における社会構造の特質についての研究）	技術史・環境（生業・技術・自然との関わりなどについての研究）	地域文化論（さまざまな伝承や意識を素材とした研究）	国際交流論（国際的な文化交流、政治交渉史に関する研究）	基礎演習Ⅲ	先端学術院特別研究 VA・B	資料の調査と活用	地域研究の方法	博物館コミュニケーション論	総合資料学	
2年次									基礎演習Ⅳ					先端学術院特別研究 IVA・B
1年次									基礎演習Ⅲ					先端学術院特別研究 IIIA・B
カリキュラム・ポリシーに基づく授業形態														